

## 第1回企画展

## しりあがり寿×広重『弥次♡喜多 in 東海道』

2013年4月19日(金)～7月15日(月/祝)

Part 1 / 4月19日(金)～5月19日(日) Part 2 / 5月21日(火)～6月16日(日) Part 3 / 6月18日(火)～7月15日(月/祝)

開館時間	午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)
休館日	毎週月曜日(前日が祝日の場合は、翌火曜)
入館料	一般500円(400円) / 大学生・高校生300円(240円) ※中学生以下及び静岡市在住の70才以上の方は無料 ※( )は20名以上の団体料金 ※身体障害手帳等をご持参の方及び介助者は無料
主催	静岡市東海道広重美術館 (指定管理者:NPO法人 ヘキサプロジェクト)
協力	静岡市クリエイター支援センター(CCC)、JAL、J400



しりあがり寿:『真夜中の弥次さん喜多さん 愛と幻覚のセレナーデ』CDジャケット / © モモアンドグレース



歌川広重 『東海道五拾三次之内』 由井 (行書東海道)



歌川広重 『東海道』 十七 五十三次 由井 (録書東海道)

※ 本プレスリリース掲載の展示内容及び出展作品は都合により変更となる場合がございます。

□ 本資料に関するお問い合わせ

静岡市東海道広重美術館 広報担当 / 山口  
〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比297-1  
tel 054-375-4454 / fax 054-375-5321 pr@tokaido-hiroshige.jp

## ■ 展覧会概要

静岡市出身の漫画家、しりあがり寿は、十返舎一九「東海道中膝栗毛」を題材にした「弥次喜多 in Deep」で第5回手塚治虫文化賞漫画優秀賞を受賞。そのリアルと幻覚が入り混じった独特の世界で繰り広げられるシュールな世界観は文学的にもアートのにも高く評価されています。

本展では、「しりあがり寿×広重『弥次♡喜多 in 東海道』と題し、しりあがり寿の「真夜中の弥次さん喜多さん」(カラー原画など)と広重の「東海道五拾三次」を対比しながら、日本橋から岡部までの東海道宿場を巡ります。

保永堂版とともに広重の東海道三役として高い評価を得ている隸書東海道と行書東海道、そして洒落のきいた狂歌を添えた「狂歌入東海道」など広重の代表作東海道シリーズと、しりあがり寿が描く独創性溢れる世界を読み解きながら、弥次喜多と巡るユニークな東海道をお楽しみください。

また、1Fエントランスホール(無料スペース)では、しりあがり寿の新作オリジナル弥次喜多グッズなどが購入できる「弥次♡喜多SHOP」を同時開催します。

## ■ 出展作家・出展作品

※ 展示内容及び出展作品は都合により変更となる場合がございます。

### Part1 「日本橋～沼津宿」

- [当館] □ しりあがり寿: 『真夜中の弥次さん喜多さん』より 原画:116点、  
カラー原稿、絵コンテ など その他作品多数
- 歌川広重: 『東海道五十三次之内』(行書東海道) 9点  
『東海道』(隸書東海道) 9点  
『東海道張交図会』12点
- 菱川師宣: 『東海道分間絵図』
- 三代歌川豊国: 『広重死絵』  
役者見立東海道五十三驛『東海道五十三次之内』府中 弥次郎兵衛  
役者見立東海道五十三驛『東海道五十三次之内』府中 喜多八



『東海道五十三次之内』(行書東海道) 日本橋

### Part2 「原～岡部宿」

- [当館] □ しりあがり寿: 『真夜中の弥次さん喜多さん』より 原画:285点、  
カラー原稿、絵コンテ など その他作品多数
- 歌川広重: 『東海道五十三次之内』(行書東海道) 9点  
『東海道』(隸書東海道) 9点  
『道中膝栗毛』4点  
(『小田原泊り』『大井川とひや』『菊川の坂』『瀬戸川』)  
「膝栗毛道中雀」
- stik: 作品展示



『東海道五拾三次』(狂歌入東海道) 原

### Part3 「日本橋～岡部宿」

- [当館] □ しりあがり寿: 『真夜中の弥次さん喜多さん』より 原画: 401点、  
カラー原稿、絵コンテ など その他作品多数
- 歌川広重: 『東海道五拾三次』(狂歌入り東海道) 22点

## ■ 同時開催 [開催場所] エントランスホール(無料コーナー)

### □ 『しりあがり寿 弥次♡喜多SHOP』

しりあがり寿の弥次喜多関連グッズ(本展のみの描きおろし)、書籍、「おやじ」小作品などを展示販売します。

## ■ 展覧会の見どころ

### これまでになく浮世絵とアートのコラボレーション!

「浮世」という言葉には、「現代の」という意味があり、江戸時代の浮世絵師はその時代の「今」を表現していました。当館では、浮世絵という伝統文化を時代を超えて現代の人々に繋げるために、ポップカルチャー（マンガ・アニメ）、デザインやイラストレーションという切り口で、広重と現代作家とを繋ぐ斬新な展覧会を年間を通して開催していきます。そして、これまで浮世絵に興味がなかった国内外の人々まで層を広げ、新たな浮世絵ファンを獲得することを目指しています。

### しりあがり寿x広重 「リアル」比べ?

第一回目となる本展では、マンガという切り口で、広重と現代作家とを繋ぎます。しりあがり寿の「真夜中の弥次さん、喜多さん」のストーリーに合わせて、広重の日本橋から岡部までを宿駅ごとに展示します。「リアル」求めてお伊勢参りに旅立つ弥次さんと喜多さん、そして広重が描く「リアリティ」溢れる江戸の旅の風景や道中風俗。かつてなかった漫画と浮世絵のコラボレーションにより、過去と現代が交差する「リアルな旅」をお楽しみください。

### □ しりあがり寿描きおろし新作の展示

美術館エントランスコーナー（無料）では、アートの世界でも活躍するしりあがり寿氏の油彩、墨絵、ドローイング等の作品も展示します。

### □ その他のみどころ

#### のんびり、ゆったり東海道「由比宿」を歩こう!

広重は海越しの富士山と難所の峠、帆掛け船が浮かぶ駿河湾を描いていますが、それと同じような風景が現在でも堪能できます。

また、美術館の周りには、風情が残る古い町並みなど歴史を感じる建物が充実しています。桜海老とシラスの漁業基地としても有名です。「美」と「食」そして由比の「観光」を兼ねてお楽しみいただけます。



東海道五十三次之内 由比

※ イメージ画像  
(本展覧会では上記作品の出展はございません)

## ■ 関連企画 1

## □ 江戸文化セミナー(シリーズ3回/日本語での講演) 講師/タイモン・スクリーチ氏

アジア、アフリカおよび中近東地域を対象とする世界最大の研究機関SOAS教授であり、日本近世文化・美術の分野における世界的権威として知られるタイモン・スクリーチ(Timon Screech)氏による江戸文化セミナー。

## [日 程] 第1回: 4月21日(日)「江戸の都市計画」

江戸は世界最大の人口を持った都市だった。家康による最先端の都市計画とは?

1800年前後の江戸の人口は、100~120万人程度と推定され、同時代のロンドン(90万人)やパリ(60万人)よりも多く、世界一の大都市でした。世界に類を見ない水運を活用した都市計画や中国の陰陽学など、家康による壮大な江戸のまちづくりについてお話しします。

## 第2回: 6月8日(土)「江戸と吉原」

江戸から吉原の道筋について。人々がどうやって訪れたのか、またそこで何を見たか?

※ 第3回「日本とイギリス」は、11月に開催予定です。

[参加費] 無料

[定 員] 50名(要事前申し込み/先着順 ※定員になり次第受付を終了します)

[お申込み] 静岡市東海道広重美術館/Tel: 054-375-4454(代) メールアドレス: info@tokaido-hiroshige.jp

(Eメールでのお申込みは、「江戸文化セミナー」参加希望、参加希望回、氏名、年齢、ご住所(郵便番号含む)、電話番号をご明記下さい)

## □ 浮世絵デモンストレーション&amp;ワークショップ(参加費:無料) 講師/アダチ版画研究所

版元として、江戸時代の技法を今に継承するアダチ版画研究所による、浮世絵版画の実演と体験ワークショップ。

[日 程] 5月3日(金/祝)

[参加費] 無料

[お申込み] 静岡市東海道広重美術館/Tel: 054-375-4454(代) メールアドレス: info@tokaido-hiroshige.jp

(Eメールでのお申込みは、「浮世絵ワークショップ参加希望」、氏名、年齢、ご住所(郵便番号含む)、電話番号をご明記下さい)



ヴィクトリア アルバート ミュージアム(ロンドン)でのワークショップ風景 (企画: NPO法人ヘキサプロジェクト) 2012年11月

## □ 当館学芸員によるギャラリートーク

[日 程] 6月22日(土)

[参加費] 無料

[お申込み] 静岡市東海道広重美術館/Tel: 054-375-4454(代) メールアドレス: info@tokaido-hiroshige.jp

(Eメールでのお申込みは、「弥次喜多in東海道ギャラリートーク参加希望」、氏名、年齢、ご住所(郵便番号含む)、電話番号をご明記下さい)

## ■ 関連企画 2

## □ UKで活躍するストリートアーティスト stik 作品展示



■ 作家・講師 プロフィール



しりあがり寿

1958年静岡市生まれ。1981年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業後キリンビール株式会社に入社し、パッケージデザイン、広告宣伝等を担当。1985年単行本『エレキな春』で漫画家としてデビュー。パロディーを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を浴びる。1994年独立後は、幻想的あるいは文学的な作品など次々に発表、マンガ家として独自の活動を続ける一方、近年ではエッセイ、映像、ゲーム、アートなど多方面に創作の幅を広げている。

□受賞歴

2000年『時事おやじ2000』(アスペクト)、『ゆるゆるオヤジ』(文藝春秋)にて第46回文藝春秋漫画賞を受賞。  
2001年『弥次喜多 in DEEP』(エンターブレイン)にて第5回手塚治虫文化賞「マンガ優秀賞」を受賞。

www.saruhage.com



stik

イーストロンドンで有名なストリートアーティスト。stikの作品はショーディッチ地域のストリートアートツアーの中でも大きな見所の一つとなっている。グラフィティ・シーンで人気上昇中のStikは、2011年にはイギリス国外において4つの個展を開催し、国際的ファン層を獲得した。

2012年にはブライアン・メイ、マーク・オーウェン、NHS(National Health Service/イギリス国民保険サービス)、British Council(イギリス文化交流機関)からの依頼を受け、2013年にはニューヨークとマイアミで展覧会を開催予定。

2012年4月にロンドン市内のギャラリーで開催された個展"Walk"では、限定プリントを販売。夕方5時オープンにも関わらず朝6時からヨーロッパ全土からファンが駆けつけ、オープン直後の約10分間で完売となった。

彼の作品は、ケント公爵、アントニー・ゴームリー、タイニーテンパー、ゴールドイーなど様々な人に愛され、彼らのコレクションとなっている。

www.stik.org.uk



タイモン・スクリーチ

ロンドン大学アジア・アフリカ研究所(SOAS)教授。日本近世文化・美術専攻。

1985年オックスフォード大学東洋学専攻卒業、1991年ハーヴァード大学で博士号取得、以後SOAS研究員をへて教授。この間シカゴ大学客員教授、学習院大学、早稲田大学で研究員を務め、現在は多摩美術大学客員教授。

【ロンドン大学アジア・アフリカ研究所(SOAS)】

アジア、アフリカおよび中近東地域を対象とする研究機関では世界最大。英国では唯一の地域研究に特化した教育・研究機関。またSOASはイギリスの大学連合1994グループに加盟している。

www.soas-uol.jp

【著書(日本語訳)】

『大江戸異人往来』 高山宏訳、丸善ブックス 1995/ちくま学芸文庫 2008

『江戸の身体を開く』 高山宏訳 作品社 1997

『大江戸視覚革命 十八世紀日本の西洋科学と民衆文化』 田中優子・高山宏訳、作品社 1998

『春画 片手で読む江戸の絵』 高山宏訳、講談社選書メチエ 1998/講談社学術文庫 2010.7

『江戸の思考空間』 村山和裕訳、青土社 1999

『定信お見通し 寛政視覚改革の治世学』 高山宏訳、青土社 2003

『江戸の英吉利熱 ロンドン橋とロンドン時計』 村山和裕訳、講談社選書メチエ 2006

『江戸の大普請 徳川都市計画の詩学』 森下正昭訳、講談社 2007

『人間交流の江戸美術史』 村山和裕訳、東京大学出版会 2011.6



□ アダチ版画研究所

昭和3年から浮世絵に培われた伝統木版技術を継承し、木版制作を続けている。伝統木版の技術保存・発展のために浮世絵版画の復刻をはじめ、源氏物語絵巻に代表される大和絵、墨絵の再現、日本画巨匠の木版画作品、現代アーティストの作品等数多くの作品を発表し続けている。

【(財)アダチ伝統木版画技術保存財団】

伝統木版画の制作技術に関する研究などの奨励と保存、ならびに技術者の擁護育成に努め、あわせてその成果を広く一般に普及することで、我国の美術文化の発展に寄与することを目的として設立された文部科学省認可、文化庁文化財保護部所管の財団。

www.adachi-hanga.com